

ぐんまの教育 2026

－ 基本方針と主要事業 －

群馬県教育委員会

目次

はじめに	1
「ぐんまの教育 2026」とは	1
教育ビジョンと「ぐんまの教育 2026」の位置付け	1
教育ビジョン及び「ぐんまの教育 2026」構造イメージ	2
I ぐんまの教育 2026「基本方針」	3
1 令和8年度（2026年度）群馬県教育委員会運営方針	3
2 重点政策ごとの事業ツリー及び指標	4
政策1－① 変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成	7
政策1－② 多様性を尊重し、協働する力の育成	9
政策1－③ 自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援	11
政策1－④ 心と体の健康に対する理解と向上	13
政策1－⑤ 時代の変化に対応した教育イノベーションの推進	15
政策2－① 「人」を支える取組の充実	19
政策2－② これからの時代の学びを支える施設・設備整備の推進	21
政策2－③ これからの時代の学びを見据えた体制の整備	23
政策2－④ 学びの充実に向けた様々な主体による連携・協働の推進	27
政策2－⑤ 全ての子どもの学びを支援する取組の充実	29
II ぐんまの教育 2026「主要事業」	31
1 主要事業一覧	31

【別添資料】

主要事業一覧（別添 Excel ファイル）

はじめに

「ぐんまの教育 2026－基本方針と主要事業－」とは

令和6年(2024年)3月に策定した「群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)(以下、「教育ビジョン」)」(計画期間:令和6年度～令和10年度(2024年度～2028年度))を着実に推進していくためには、教育ビジョンに掲げる目標・視点・重点政策に基づき、その時々¹の社会情勢等の変化に応じて、常に事業の見直し・改善に取り組んでいく必要があります。

このため、毎年度当初に、群馬県の教育行政に関する基本方針と主要な事業を掲載する「ぐんまの教育 202□－基本方針と主要事業－」(以下、「ぐんまの教育」)を作成・公表します。

当該年度の「基本方針」は、「群馬県教育委員会の運営方針」と「重点政策ごとの事業ツリー及び指標」の二つから成ります。ここでいう「運営方針」は、教育ビジョンの目標実現に向けた当該年度における群馬県教育委員会の事業の方向性を示すものです。「事業ツリー」は、当該年度に実施する「代表的な事業」と「教育ビジョンの重点政策」(以下、「重点政策」)との関連性を示すものであり、「指標」は、重点政策に掲げる主なテーマの進行管理に活用する統計データ等を指します。

また、「主要事業」は、事業ツリーに掲載した事業を含めた当該年度の教育行政における主要な事業の概要を一覧表で整理し、それと同時に重点政策との関連を示します。

これらの基本方針及び主要事業を本資料で示すことで、県民の皆さまに県教育行政に対して興味や関心を持っていただき「家庭」・「学校」・「地域」・「行政機関」・「民間団体・企業」等、様々な主体が力を合わせて、教育ビジョンの実現に向けた取組を進めていきたいと考えています。

なお、「ぐんまの教育」は、毎年度終了後に振り返りを行い、教育行政におけるPDCAを1年ごとに的確に回すことで、より良い教育施策の実現を目指します。

「ぐんまの教育 2026」の位置付け

「新・群馬県総合計画」は、群馬県が策定した県政を運営するための基本方針を示した計画です。

新・群馬県総合計画に基づき策定した教育分野の最上位計画として、教育ビジョンと第3期群馬県教育大綱(以下、第3期教育大綱)があります。第3期教育大綱の内容については、教育ビジョンと兼ねることとしています。

教育ビジョンを着実に推進するため、令和8年度(2026年度)の基本方針及び主要事業を示す資料が「ぐんまの教育 2026」です。

教育ビジョンと「ぐんまの教育 2026」の大まかな関係性を次ページ「構造イメージ図」に示します。



教育ビジョン及び「ぐんまの教育 2026」構造イメージ

【教育ビジョン（第4期教育振興基本計画）】

計画期間：令和6～10年度（2024～2028年度）

最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
 -ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成-

群馬の教育が目指す学習者像

- 学習者像① 自らが主語となる学びをつくり、深めていく
- 学習者像② 社会課題を自分事化して、行動に移す
- 学習者像③ 多様性を尊重し、互いに認め合う
- 学習者像④ 対話と交流により、信頼関係を築いていく
- 学習者像⑤ 生涯にわたり学び続ける喜びを実感し、共有していく

※教育ビジョンにおける「目標」の考え方

- ・「最上位目標」と、最上位目標をより具体化した「群馬の教育が目指す学習者像」を合わせて「目標」と位置付けています。
- ・「目標」は、「到達する」や「達成する」ということでなく、「向上し続ける」、「努力し続ける」ことを意図しています。
- ・これらの目標に向けて、向上し続ける、努力し続けるために、常に意識することとして、「目標実現のために持ち続ける視点①・②」を掲げています。

目標実現のために持ち続ける視点

視点① 大人も、子どもも、社会的な“一人の主体” 視点② 学校で、家庭で、地域で…自ら学び育つ、共に学び育つ

今後5年間の教育の重点政策

1 目指す学習者像実現のための重点政策

政策① 変化の激しい 社会に対応 できる資質・ 能力の育成	政策② 多様性を尊重 し、協働する力 の育成	政策③ 自分と社会を より豊かにする ための生涯にわ たる学びの支援	政策④ 心と体の 健康に 対する理解 と向上	政策⑤ 時代の変化に対 応した教育 イノベーション の推進
---	---------------------------------	--	------------------------------------	---

2 群馬の教育を推進する基盤となる重点政策

政策① 「人」を支える 取組の充実	政策② これからの 時代の学びを支 える施設・設備 整備の推進	政策③ これからの 時代の学びを 見据えた体制の 整備	政策④ 学びの充実に向 けた様々な主体 による連携 ・協働の推進	政策⑤ 全ての子ども の学びを支援する 取組の充実
-------------------------	---	---	--	------------------------------------

教育ビジョンに基づく
 具体的な取組等を
 「ぐんまの教育 2026」に掲載

ぐんまの教育 2026 - 基本方針と主要事業 - (本資料)

I 基本方針

1 令和8年度群馬県教育委員会運営方針

教育ビジョンの目標実現に向けた令和8年度における
 群馬県教育委員会の事業の方向性

2 重点政策ごとの事業ツリー及び指標

事業ツリー… 教育ビジョンの重点政策と、令和8年度に
 実施する教育行政に関する代表的な事業と
 の関連性を整理
 指標… 教育ビジョンの重点政策に掲げる主な
 テーマの進行管理に活用する統計データ等

II 主要事業

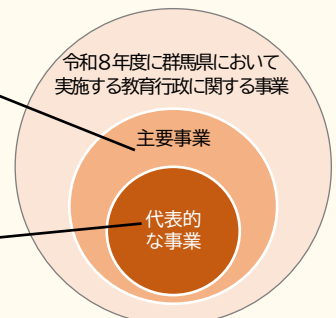
主要事業一覧 (別添 Excel ファイル)

令和8年度に群馬県において実施する教育行政に
 関する主要事業の一覧

「ぐんまの教育 2026」に掲載する事業のイメージ

II「主要事業一覧」に
 掲載

I.2「事業ツリー」と
 II「主要事業一覧」の
 両方に掲載



目標 ※

総論

各論

I ぐんまの教育 2026「基本方針」

1 令和8年度（2026年度）群馬県教育委員会運営方針

群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）が掲げる「最上位目標」及び「群馬の教育が目指す学習者像」の実現に向けた様々な事業を、「目標実現のために持ち続ける視点」及び目標とのつながりを意識しながら進め、教育ビジョンの具現化に取り組んでいきます。

令和8年度（2026年度）は、児童生徒や教職員がエージェンシーを発揮し、自分で考え、自分で決めて、自分で行動できるような教育の実現に向けて、主体性を育む取組を推進していきます。そのために、学びの充実により、認知能力と非認知能力をバランスよく育成していくこと、多様化・複雑化・深刻化する児童生徒の課題への対応や支援、心理的安全性の高い学びの場づくり、それらを支える教職員の働き方向上などに係る施策や、それらに必要な体制や設備の整備等に重点的に取り組みます。そして、これまでの取組を踏まえ、各事業のブラッシュアップや、新規事業の着実な推進を通じて、幼児児童生徒・教職員・県民一人一人と社会のウェルビーイングに向けた、より良い群馬県の教育の実現を図ります。その中でも、以下の事業に特に力を入れていきます。

○令和8年度（2026年度）に特に力を入れて取り組む事業

県立高校改革について、現在の在校生や今後入学してくる子どもたちのために、今ある全ての県立高校を一層輝かせていくための取組を推進するとともに、県立高校が未来の子どもたちにとって引き続き魅力あふれる学びの場であり続けられるよう、未来の県立高校の在り方について、地域の方々とともに検討を進めていきます。

具体的な取組の一例として、県立高校を輝かせる取組について、非認知能力の評価・育成に係る県立高校指定校事業として取り組んできた「SAH（Student Agency High School）」を「SAH+（プラス）」事業として発展させ、学校の特色化や学校・地域の魅力発信に係る企画を生徒自身が考え、実行する取組等を展開します。

県立高校の在り方検討については、準備が整った地区から順次「地区別検討会」を開催し、地域の方々とともに、より良い県立高校の在り方の方向性を検討します。

さらに、次代を担う職業人材の育成に向け、専門高校において、老朽化した実習用設備の更新、ICT等対応設備等の先端技術の導入を一体的に進め、産業教育の質の確保と高度化を図ります。

「非認知能力の評価・育成」について、従来から実施してきた指定校での実践研究や海外共同研究等により得られた成果や知見をまとめ、専門家委員会からの助言等を踏まえて、SEL（社会情動的スキルを身に付けるための学習）の群馬モデルの完成を目指します。

全ての子どもたちを支援する取組の充実について、「インクルーシブ教育の推進」では、多様性を包摂し、個性が輝く「インクルーシブな学校」の全県展開に向けて、モデル校での実践研究を拡充するとともに、保護者、学校現場、県民等への理解促進に向けた取組を進めます。

「校内教育支援センター（SSR）支援員の配置促進」事業では、支援員配置のための市町村への財政補助を新たに開始し、長期間学校に通えていない、又はその兆候が見られる児童生徒等への学習・相談支援の拡充を図ります。

また、「外国人児童生徒等支援」事業では、母語支援員の配置等を進めるため、市町村への補助を拡充します。

教職員の働き方向上に関連して、「スクール・サポート・スタッフ」及び「障害者雇用促進対策」事業の拡充を図り、市町村立学校にはスクール・サポート・スタッフを、県立学校等には会計年度任用職員

を事務補助者として引き続き配置し、教員が児童生徒と向き合う時間や授業等の創意工夫に使う時間の確保につなげるとともに、障害者が能力を十分に発揮できる場を整備します。

社会教育施設について、県立ぐんま天文台では、設置から26年が経過し老朽化した「150cm 望遠鏡」の設備を更新します。また、「ぐんま昆虫の森みらいプロジェクト」を推進し、外部有識者の意見を踏まえて作成した基本構想に基づき、具体的なリニューアル計画となる基本計画を策定します。

部活動の地域展開について、コーディネーターを配置し部活動の地域展開のための体制整備を進めるとともに、地域クラブ活動の活動費等の補助を行う市町村に対する支援を実施します。加えて、部活動指導員を配置する市町村へ補助を行うとともに、高等学校に部活動指導員を配置し、地域展開に向けた基盤づくりと教員の働き方改革につなげます。

2 重点政策ごとの事業ツリー及び指標

(1) 構成について

「事業ツリー」は、教育ビジョンの最上位目標に連なる10項目の「今後5年間の教育の重点政策」と、「令和8年度（2026年度）に実施する代表的な事業」との関連性を示したものです。また、「指標」は、教育ビジョンの重点政策に掲げる主なテーマの進行管理に活用する統計データ等です。

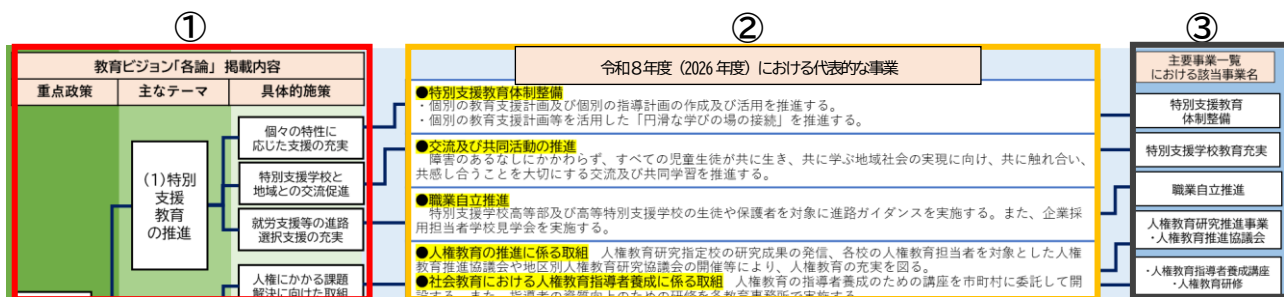
この事業ツリー及び指標を活用し、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づく「教育委員会の点検・評価」¹を実施します。

6ページ以降の「I.2 重点政策ごとの事業ツリー及び指標（2）本文」に、重点政策ごとに「事業ツリー」、「事業ツリーの概要」及び「指標」を掲載します。

ア 事業ツリー及び指標の構成

「(2) 本文」に記載している「事業ツリー」、「事業ツリーの概要」、「指標」の見方について、以下に説明します。

(事業ツリーの例)



(事業ツリーの概要及び指標の例)

④

(事業ツリーの概要)

重点政策1-②「多様性を尊重し、協働する力の育成」の趣旨である「全ての子どもの可能性を最大限に伸ばすとともに、一人一人が自分を大切に、異なる状況にある他者を尊重し、対話や交流を行い、互いにとって良い方向を見出そうとする姿勢を身に付ける」を踏まえ、3つの主なテーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主なテーマ(1) 特別支援教育の推進

個々の児童生徒の特性に応じた教育を充実させるとともに、卒業後の社会的な自立や居場所づくりを見据えた特別支援教育を推進します。

【令和7年度（2025年度）における代表的な事業】

- ・特別支援教育体制整備
- ・交流及び共同活動の推進
- ・職業自立推進

⑤

(指標)

関連する主なテーマ	指標	出典	最新値
(1) 特別支援教育の推進	県立特別支援学校児童生徒の交流及び共同学習の実施率	交流及び共同学習実施状況報告書（年度末報告）	令和6年度（小学部） 39.5% (中学部) 16.5%

①教育ビジョン「各論」掲載内容

教育ビジョン「各論」の構成要素を整理し、「(今後5年間の教育の)重点政策」、「主なテーマ」及び「具体的施策」の関連性を示します。

②「令和8年度(2026年度)における代表的な事業」

教育ビジョンに掲げる目標の実現に特に深く関連する代表的な事業を掲載し、「具体的施策」と各事業を線で結び、関連性を示します。

予算を個別に確保して実施する事業だけでなく、群馬県教育委員会が推進している、又は方向性を示している学校での取組(指導内容等)などのように、予算書等に名称が掲載されていない取組も含めて掲載しています。なお、知事部局の事業及び指標については【参考】として表記します。

③「主要事業一覧における該当事業名」

「主要事業一覧」は、令和8年度に群馬県において実施する教育行政に関する主要な事業の概要、予算額等を別添のExcelファイルの一覧表にまとめたものです(詳細は本冊子p.29「II.1 主要事業一覧」を御参照ください)。

「主要事業一覧」は、予算書等に記載されている事業名(事項名)を基に整理しています。一方で、前述の②「令和8年度における代表的な事業」には、予算書等に記載されている事業の一部について、取組内容が分かりやすいように、切り出して整理しているものが含まれています。そこで、②「令和8年度における代表的な事業」が、「主要事業一覧」のどの事業に該当する(含まれている)かを示すための欄を設けています。

(事業ツリーの概要及び指標の例)

④「事業ツリーの概要」

「(今後5年間の教育の)重点政策」及び「主なテーマ」の趣旨を記載し、②「令和8年度における代表的な事業」に掲載する事業との関連性を改めて示します。

⑤「指標」

各指標の目標値は設定しません。「教育委員会の点検・評価」を実施する際は、各事業の進捗状況を矢印等による「上昇」・「下降」等で示した上で要因分析を行うとともに、各事業の見直しや改善等に反映させていきます。なお、知事部局において実施する事業は、「教育委員会の点検・評価」の対象ではないため、「参考」として掲載しています。

イ 事業ツリー掲載事業及び指標の見直しについて

各事業の見直しや改善等に伴い、今後、事業ツリーに掲載する事業や指標を変更する場合があります。その際、掲載する事業及び指標の数は、今回、掲載している数を原則として、必要に応じて加除するものとします。

¹ 教育委員会が所管する事務の管理及び執行状況について、毎年度、有識者の意見を参考にしながら点検及び評価を行うもの。点検・評価を通じて挙げられた課題等を次年度以降の事業の見直しに活用し、絶えず改善を図りながら教育行政を進めていくことを目的とする。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

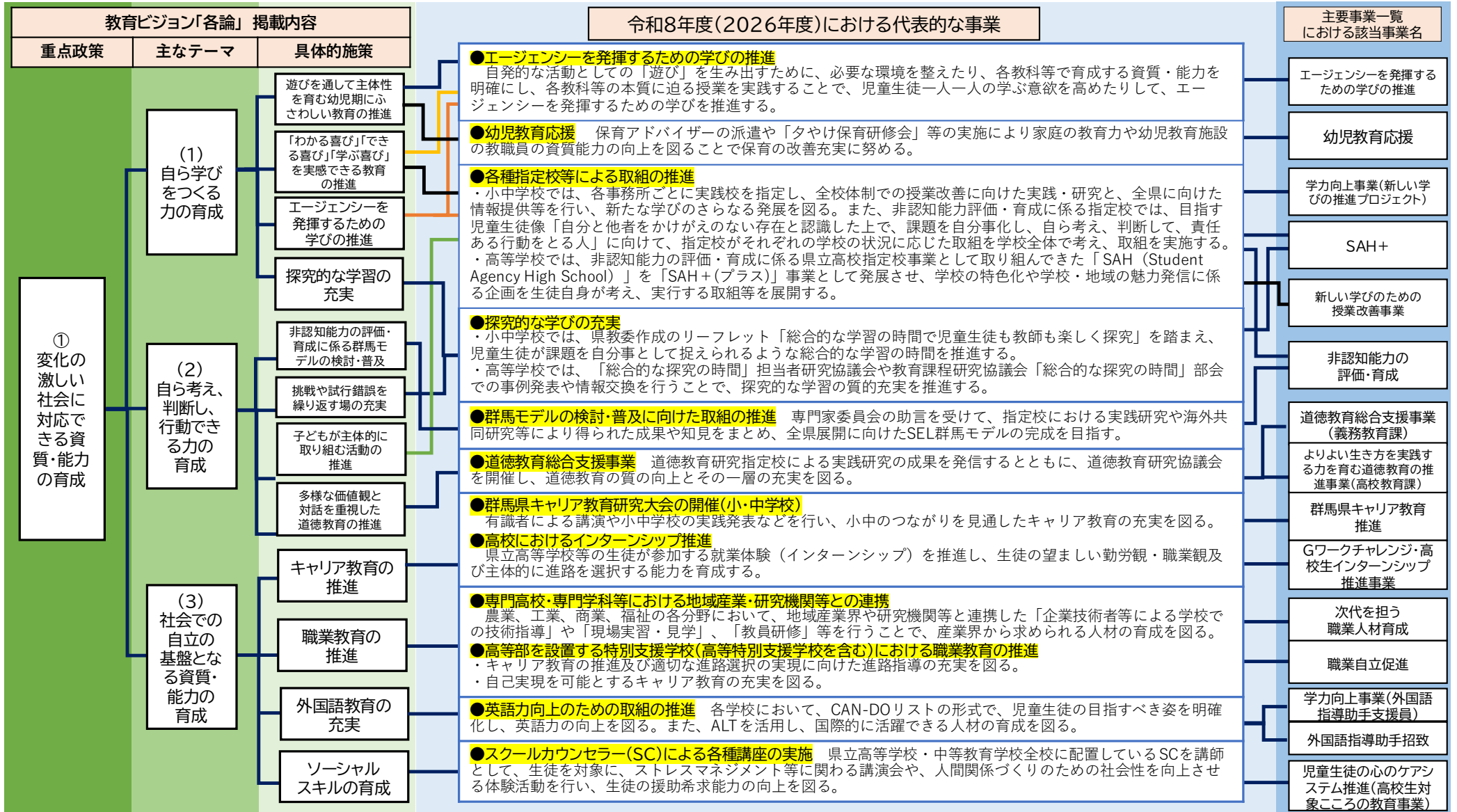
I.2 重点政策ごとの事業ツリー及び指標

(2) 本文

【1 目指す学習者像実現のための重点政策】
① 変化の激しい社会に対応できる力の育成

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)



(事業ツリーの概要)

重点政策1-①「変化の激しい社会に対応できる力の育成」の趣旨である「発達段階や個性、興味関心に応じた一人一人の主体的な学びを通じて、知識・技能等の認知能力と学びに向かう力等の非認知能力を相互に強化しながら身に付ける」を踏まえ、3つの主要テーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主要テーマ(1) 自ら学びをつくる力の育成

個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進により、各教科への理解を深め、自分自身の興味関心に応じた学びの基盤とするための施策を展開していきます。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・エージェンシーを発揮するための学びの推進
- ・幼児教育応援
- ・各種指定校等による取組の推進
- ・探究的な学びの充実

■主要テーマ(2) 自ら考え、判断し、行動できる力の育成

児童生徒の自主性・自律性を生かした取組を進め、他者の主体性を尊重しながら、失敗から新たな挑戦や試行錯誤を生み出し合う人間関係を形成する力の育成とそのための成長を支える取組を行います。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・(非認知能力の評価・育成に係る)群馬モデルの検討・普及に向けた取組の推進
- ・探究的な学びの充実
- ・各種指定校等による取組の推進
- ・道徳教育総合支援事業

■主要テーマ(3) 自立の基盤となる資質・能力の育成

自らの将来を見据えた学びにより、主体的に他者や社会との関わりを持つために必要な資質・能力を育成します。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・群馬県キャリア教育研究大会の開催(小・中学校)
- ・高校におけるインターンシップ推進

- ・専門高校・専門学科等における地域産業・研究機関等との連携
- ・高等部を設置する特別支援学校(高等特別支援学校を含む)における職業教育の推進
- ・英語力向上のための取組の推進
- ・スクールカウンセラー(SC)による各種講座の実施

(指標)

関連する主要テーマ	指標	出典	最新値
(1) 自ら学びをつくる力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を実施している教員が90%以上いると回答した学校の割合	・教育課程実施状況調査(義務教育課調査) ・高校教育課調査	令和7年度 小: 68.7% 中: 71.0% 高: 45.8%
	「ぐんまの子どもはぐくみプラン」を取組の工夫・改善に役立てた園の割合	幼児期の教育及び保育に関する実態調査(義務教育課調査)	令和7年度 55.0%
(2) 自ら考え、判断し、行動できる力の育成	「児童生徒は、授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した学校の割合	・全国学力・学習状況調査(小中学校) ・高校教育課調査	令和7年度 小: 86.9% 中: 87.4% 高: 93.2%
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と思う児童生徒の割合 (小中: 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」/高: 「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童生徒の合計)	・全国学力・学習状況調査(小中学校) ・新・群馬県総合計画及び群馬県教育ビジョン推進に係る高校生アンケート(総務課調査)	令和7年度 小: 82.5% 中: 78.3% 高: 84.4%
(3) 自立の基盤となる資質・能力の育成	公立高校全日制における高校3年間でインターンシップに参加したことがある生徒の割合	高校教育課事業実績	令和6年度 45.3%

(事業ツリー)

【1 目指す学習者像実現のための重点政策】

② 多様性を尊重し、協働する力の育成

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています



(事業ツリーの概要)

重点政策1-②「多様性を尊重し、協働する力の育成」の趣旨である「全ての子どもの可能性を最大限に伸ばすとともに、一人一人が自分を大切に、異なる状況にある他者を尊重し、対話や交流を行い、互いにとって良い方向を見出そうとする姿勢を身に付ける」を踏まえ、3つの主なテーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主なテーマ(1) 特別支援教育の推進

個々の児童生徒の特性に応じた教育を充実させるとともに、卒業後の社会的な自立や居場所づくりを見据えた特別支援教育を推進します。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・特別支援教育体制整備
- ・交流及び共同活動の推進
- ・職業自立推進

■主なテーマ(2) 互いを理解・尊重する活動の推進

お互いの違いを理解し、互いを尊重する意識を高めることにより、いじめ問題等の未然防止に資する教育を推進します。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・人権教育の推進に係る取組
- ・社会教育における人権教育指導者養成に係る取組
- ・いじめ防止活動に係る各種取組の推進
- ・情報モラル向上に係る取組
- ・スクールカウンセラー(SC)による各種講座の実施
- ・道徳教育総合支援事業

■主なテーマ(3) 多様な価値観を踏まえた協働の推進

文化的背景・年齢・性別等の相違に基づく多様な価値観を踏まえた上で、互いに理解し、協働できるようになるための教育を推進します。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・国際理解教育の推進
- ・日本語指導等の充実
- ・日本語指導を基盤とした外国人生徒等への支援事業
- ・男女共同参画を推進する学習の推進
- ・(男女共同参画推進やジェンダーに係る) 講演会・教職員向け研修会の実施

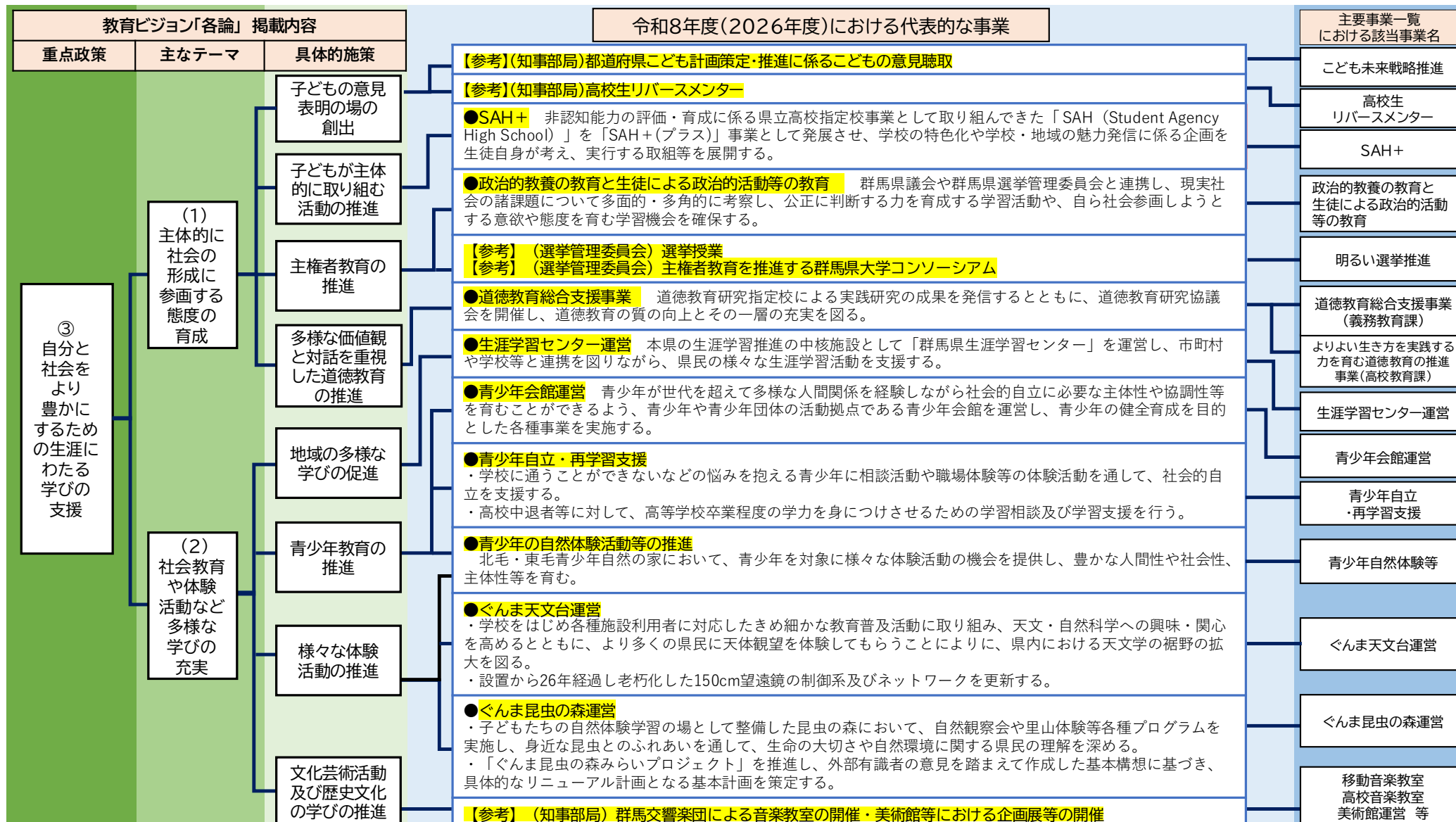
(指標)

関連する主なテーマ	指標	出典	最新値
(1) 特別支援教育の推進	県立特別支援学校児童生徒の交流及び共同学習の実施率	交流及び共同学習実施状況報告書(年度末報告)	令和6年度 (小学部) 39.5% (中学部) 16.5%
	県立特別支援学校高等部及び高等特別支援学校における就労に関する割合(一般就労実現率)	卒業生進路調査	令和6年度 卒業生 90.6%
(2) 互いを理解・尊重する活動の推進	「友達と協力するのは楽しい」と思う児童生徒の割合 (小中:「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」/高:「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童生徒の合計)	・教育課程実施状況調査(義務教育課調査) ・新・群馬県総合計画及び群馬県教育ビジョン推進に係る高校生アンケート(総務課調査)	令和7年度 小:97.5% 中:97.0% 高:95.0%
(3) 多様な価値観を踏まえた協働の推進	日本語指導が必要な児童生徒に対して、指導についての計画を個別に作成するなどの取組を行っている学校の割合	義務教育課調査	令和7年度 小:77.4% 中:76.3%

【1 目指す学習者像実現のための重点政策】
 ③ 自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)



（事業ツリーの概要）

重点政策1-③「自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援」の趣旨である「人生100年時代において学び続ける意欲を高め、自らの興味関心に基づいて社会課題を自分事化して深める学びや、文化・芸術との関わりを深めること等により、それぞれの学習者の自己実現や地域コミュニティの基盤形成につながる学びを豊かにすることを目指す」を踏まえ、2つの主要テーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主要テーマ（1）主体的に社会の形成に参画する態度の育成

「自分の行動が社会を変えることができる」という考えを持ち、実際に行動できる態度を育成する取組を推進します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・【参考】（知事部局）こどもの意見聴取
- ・【参考】（知事部局）高校生リバースメンター
- ・SAH+
- ・政治的教養の教育と生徒による政治的活動等の教育
- ・【参考】（選挙管理委員会）選挙授業
- ・【参考】（選挙管理委員会）主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアム
- ・道徳教育総合支援事業

■主要テーマ（2）社会教育や体験活動など多様な学びの充実

生涯にわたる自己実現や持続的な地域コミュニティの基盤形成となる学びを促進します。また、子どもたちには、地域における学びに加え、自然体験や芸術鑑賞等の機会を設けることで、感動する心の育成等、情操教育の充実を図ります。受動的な立場からだけでなく、自らもコンテンツの創り手やイベントの運営者になりうる意識につながるような機会づくりを推進します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・生涯学習センター運営
- ・青少年会館運営
- ・青少年自立・再学習支援
- ・青少年の自然体験活動等の推進
- ・ぐんま天文台運営
- ・ぐんま昆虫の森運営
- ・【参考】（知事部局）群馬交響楽団による音楽教室の開催・美術館等における企画展等の開催

（指標）

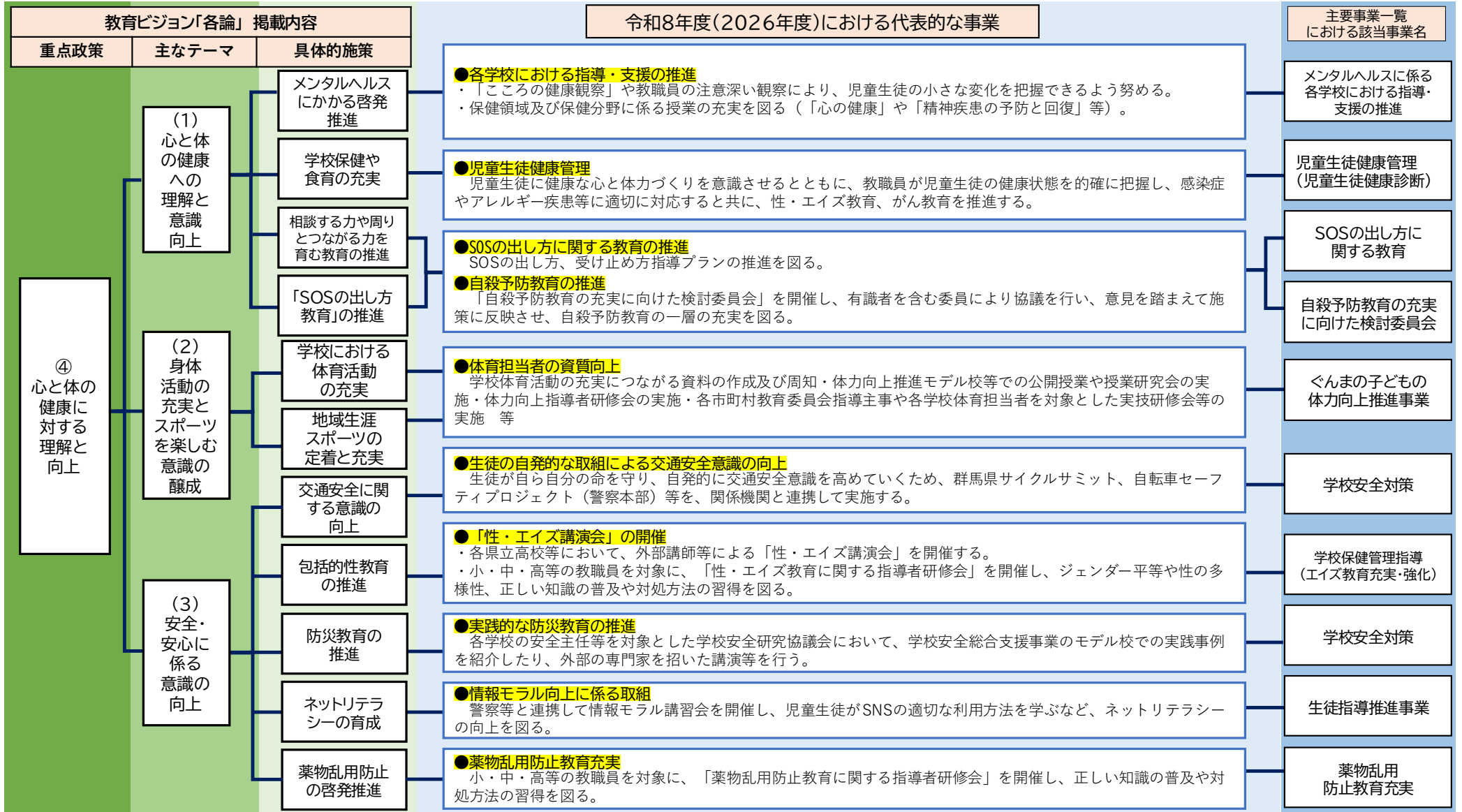
関連する主要テーマ	指標	出典	最新値
(1) 主体的に社会の形成に参画する態度の育成	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と答えた児童生徒の割合 （小中：「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」／高：「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童生徒の合計）	・全国学力・学習状況調査（小中学校） ・新・群馬県総合計画及び群馬県教育ビジョン推進に係る高校生アンケート（総務課調査）	令和7年度 小：83.2% 中：76.6% 高：82.9%
(2) 社会教育や体験活動など多様な学びの充実	青少年会館で実施する青少年健全育成事業への参加人数の合計	・青少年会館指定管理報告書	令和6年度 2,242人
	北毛・東毛青少年自然の家利用者のアンケート結果における「とても満足」「まあ満足」と回答した割合	・北毛・東毛青少年自然の家の利用者アンケート実績	令和8年度 初回調査
	ぐんま天文台入館者のアンケート結果における「とても満足」「まあ満足」と回答した割合	ぐんま天文台の入館者アンケート実績	令和6年度 97.6%
	ぐんま昆虫の森入園者のアンケート結果における「とても満足」「まあ満足」と回答した割合	ぐんま昆虫の森入園者アンケート実績	令和6年度 98.2%

【1 目指す学習者像実現のための重点政策】

④ 心と体の健康に対する理解と向上

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)



（事業ツリーの概要）

重点政策1-④「心と体の健康に対する理解と向上趣旨」の趣旨である「自他の生命の大切さを認識し、心と体の健康に関する基本的な知識を身に付け、心身関連の関係性等を理解して実践につなげることで、全ての学びの基盤である心身を整える術を身に付ける」を踏まえ、3つの主なテーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主なテーマ（1）心と体の健康への理解と意識向上

命の大切さを知り、自分と他のものの命を大切にするとともに、心と体の健康への理解を深めることで、自分の状態を認識し、必要な相談や支援を自分から求められる力や自分の体に必要な対応策を見つける力を身に付けることにつながります。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・各学校における指導・支援の推進
- ・児童生徒健康管理
- ・SOSの出し方に関する教育の推進
- ・自殺予防教育の推進

■主なテーマ（2）身体活動の充実とスポーツを楽しむ意識の醸成

学校内外のスポーツ活動等をきっかけに、身体を動かす楽しさを知り、生涯にわたって続けられるスポーツとの出会いや、続けていこうとする意識づくりにつながります。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・体育担当者の資質向上

■主なテーマ（3）安全・安心に係る意識の向上

交通安全教育や包括的性教育等を推進することにより、自分や周りの人たちの心身や人生を守る意識を向上させます。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・生徒の自発的な取組による交通安全意識の向上
- ・「性・エイズ講演会」の開催
- ・実践的な防災教育の推進
- ・情報モラル向上に係る取組
- ・薬物乱用防止教育充実

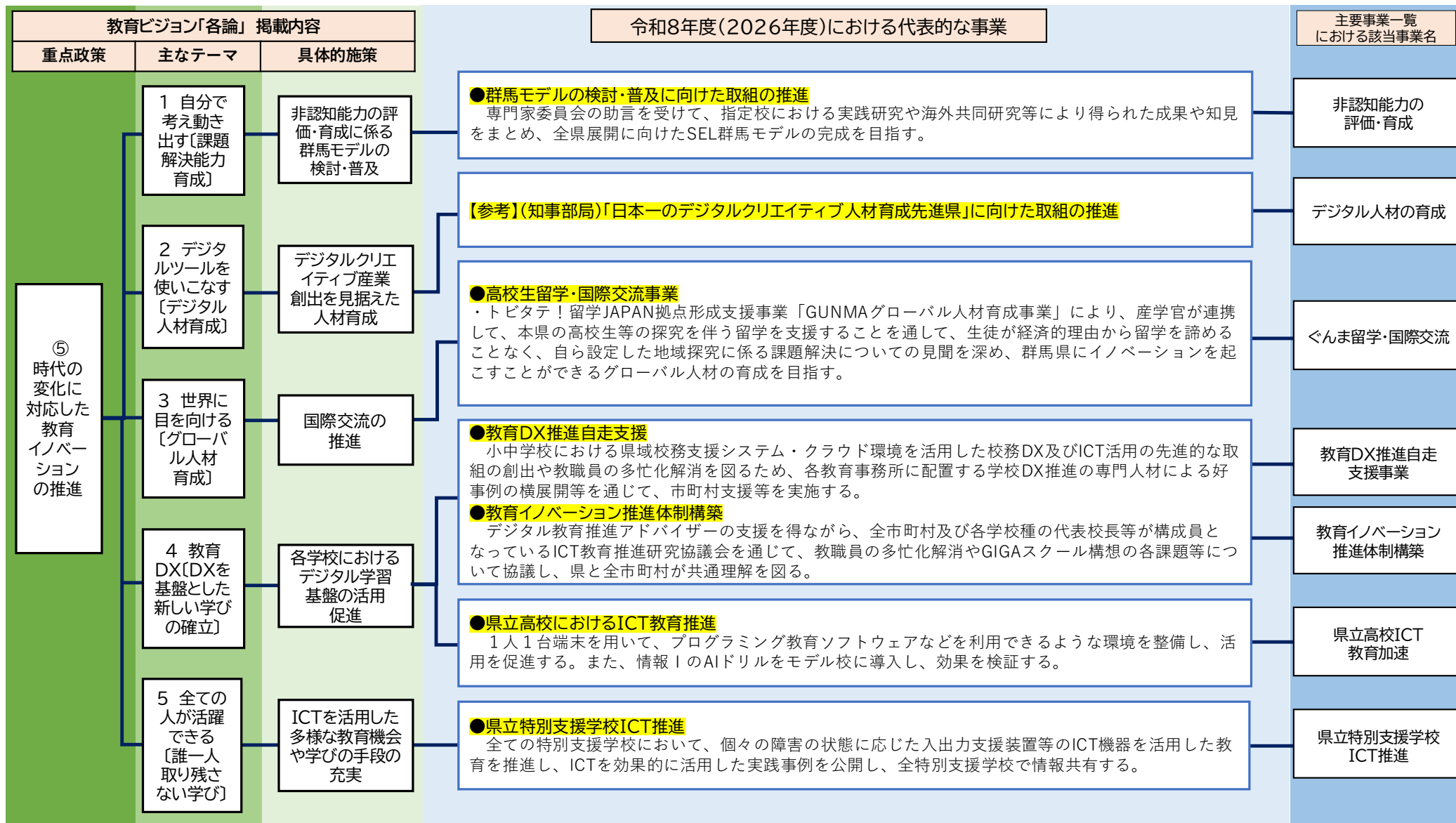
（指標）

関連する主なテーマ	指標	出典	最新値
(1)心と体の健康への理解と意識向上	「困りごとや不安がある時に、周りに相談できる大人がいる」と回答した児童生徒の割合 (小中:「当てはまる」/高:「そう思う」/どちらかといえば、当てはまる) / 高:「そう思う」/どちらかといえば、そう思う」と回答した児童生徒の合計)	・児童生徒の学習・生活実態調査(義務教育課調査) ・新・群馬県総合計画及び群馬県教育ビジョン推進に係る高校生アンケート(総務課調査)	令和7年度 小:89.3% 中:89.8% 高:87.2%
(2)身体活動の充実とスポーツを楽しむ意識の醸成	運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが「好き」と感じる児童生徒の割合	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	令和7年度 小5男子:71.8% 小5女子:54.0% 中2男子:66.8% 中2女子:43.4%
(3)安全・安心に係る意識の向上	高校生の自転車乗車用ヘルメット着用率	交通安全指導に関する調査(健康体育課調査)	令和6年 85.5%

(事業ツリー)

【1 目指す学習者像実現のための重点政策】
⑤ 時代の変化に対応した教育イノベーションの推進

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています



（事業ツリーの概要）

重点政策1-⑤「時代の変化に対応した教育イノベーションの推進」の趣旨である「教育の『不易（変わらない本質）』の部分も『流行』の部分も大切にしながら、県を挙げて『始動人』（自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力を持つ人）の育成につながる新しい取組に挑戦する」を踏まえ、5つの主要テーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主要テーマ（1）自分で考え動き出す〔課題解決能力育成〕

STEAM 教育等の探究的な学習を群馬の土壌を生かして推進し、さまざまな知識や考え方を総合的に働かせながら、課題を解決できる、新たな価値を生み出すことができる力を育成します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・（非認知能力の評価・育成に係る）群馬モデルの検討・普及に向けた取組の推進

■主要テーマ（2）デジタルツールを使いこなす〔デジタル人材育成〕

ICT リテラシーや、デジタルツールを適切かつ効果的に活用した情報の収集、分析、自らの考えを発信する力を育成し、デジタルツールを活用して新たな価値を創造する人材を育成します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・【参考】（知事部局）「日本一のデジタルクリエイティブ人材育成先進県」に向けた取組の推進

■主要テーマ（3）世界に目を向ける〔グローバル人材育成〕

留学、海外研修のほか、ICT 等を活用した国際理解教育や、企業等との連携による多文化共生教育等を推進することで、グローバル人材を育成します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・高校生留学・国際交流事業

■主要テーマ（4）教育DX〔DXを基盤とした新しい学びの確立〕

幅広い学びを実現できる学習環境の整備を多面的に充実させ、ICT やスタディ・ログ等のデータ活用により、個別最適な学びや協働的な学びをいっそう推進し、より深い学びを実践することで、主体的に学び続ける力を身につけた人材を育成します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・教育DX推進自走支援
- ・教育イノベーション推進体制構築
- ・県立高校におけるICT教育推進

■主要テーマ（5）全ての人々が活躍できる〔誰一人取り残さない学び〕

全ての児童生徒が個別最適な学びと協働的な学びを進めることができ、一人一人の個性や特性が尊重され、可能性が育まれている体制を整備します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・県立特別支援学校ICT推進

（指標）

関連する主要テーマ	指標	出典	最新値
(1) 自分で考え動き出す〔課題解決能力育成〕	「児童生徒は、授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した学校の割合	・全国学力・学習状況調査（小中学校） ・高校教育課調査	令和7年度 小：86.9% 中：87.4% 高：93.2%
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と思う児童生徒の割合	・全国学力・学習状況調査（小中学校） ・高校教育課調査	令和7年度 小：82.5% 中：78.3% 高：84.4%
(2) デジタルツールを使いこなす〔デジタル人材育成〕	1人1台端末を児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で「ほぼ毎日」活用していると答えた学校の割合	・全国学力・学習状況調査（小中学校） ・高校教育課調査	令和7年度 小：18.5% 中：27.8% 高：55.9%

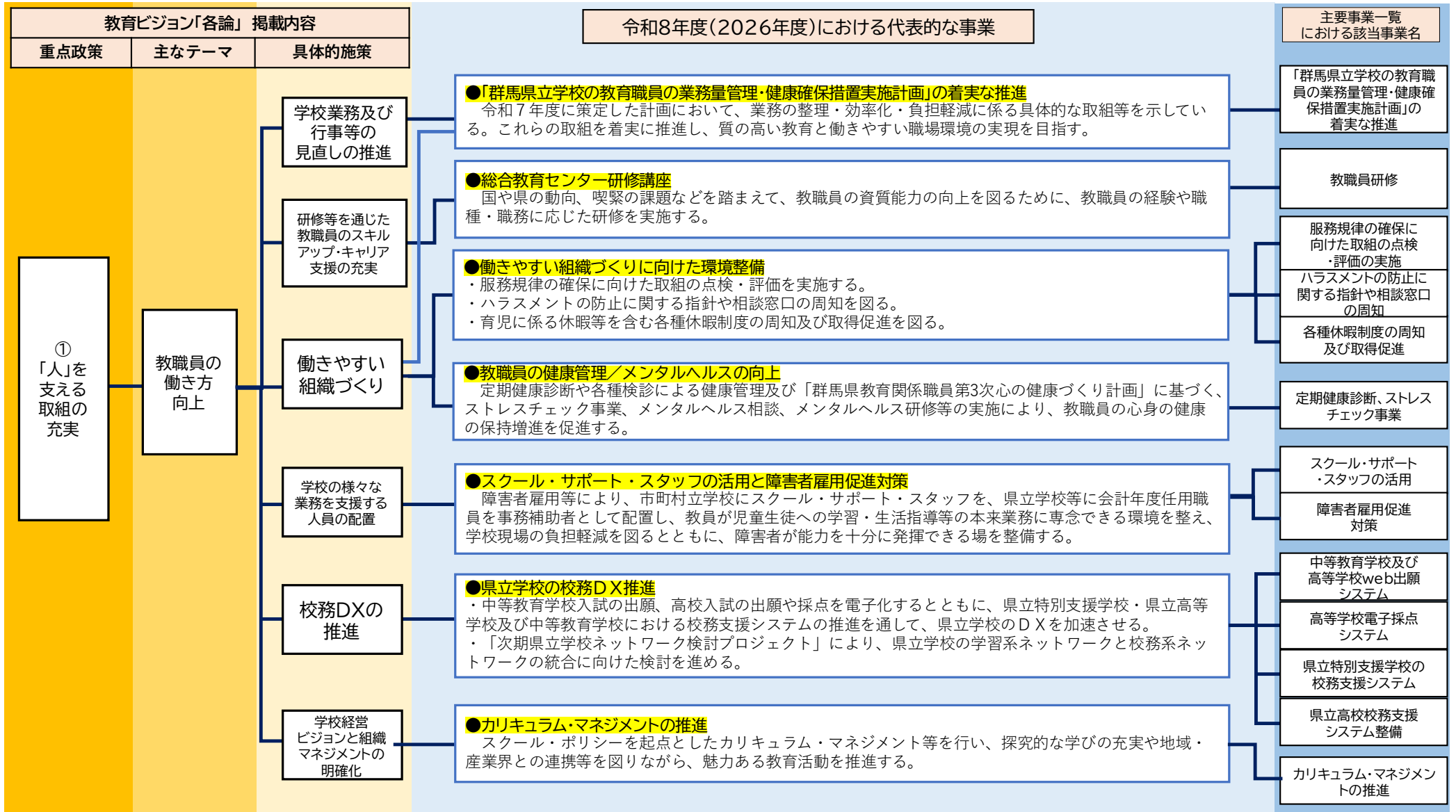
関連する 主なテーマ	指標	出典	最新値
(3) 世界に目を向ける〔グローバル人材育成〕	海外研修及びオンライン等を活用した国際交流を実施した県立高等学校数	県立高等学校取組実績	令和6年度 12校
(4) 教育DX〔DXを基盤とした新しい学びの確立〕	1人1台端末をBYODとしている県立高等学校の入学生の割合	高校教育課調査	令和7年度 84.9%
(5) 全ての人 が活躍できる 〔誰一人取り残さない学び〕	特別支援学校における授業においてICTを活用して指導する能力が身に付いている教員の割合 (B-14において「できる」「ややできる」と回答した教員の平均数/授業担当教員数・特支学校)	学校における教育の情報化の実態等に関する調査 (文部科学省)	令和6年度 64.6%

【2 群馬の教育を推進する基盤となる重点政策】

① 「人」を支える取組の充実

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)



(事業ツリーの概要)

重点政策2-①「人を支える取組の充実」の趣旨である「教職員が能力を最大限に発揮できる環境を整備することで、児童生徒と教職員が生き生きと学び合える学校を実現する」を踏まえ、主なテーマ「教職員の働き方向上」の下、それぞれの施策に取り組みます。

■主なテーマ 教職員の働き方向上

多忙化解消、ワーク・ライフ・バランスの向上を含む働き方改革と併せて、教職員の「やりがい」や「意欲」の向上、教職の魅力向上のための施策を推進します。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・「群馬県立学校の教育職員の業務量管理・健康確保措置実施計画」の着実な推進
- ・総合教育センター研修講座
- ・働きやすい組織づくりに向けた環境整備
- ・教職員の健康管理／メンタルヘルスの向上
- ・スクール・サポート・スタッフの活用と障害者雇用促進対策
- ・県立学校の校務DX推進
- ・カリキュラム・マネジメントの推進

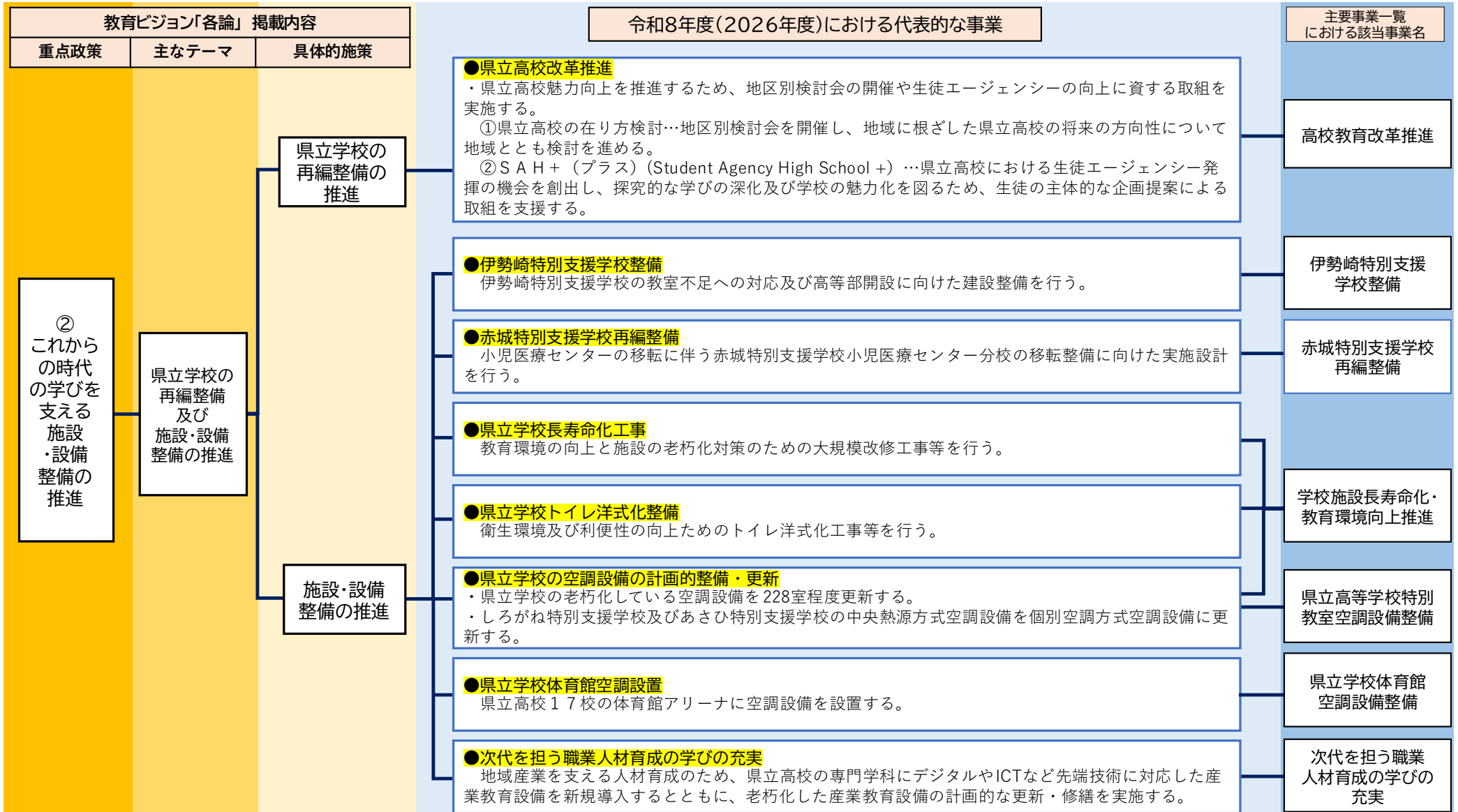
(指標)

関連する 主なテーマ	指標	出典	最新値
教職員の働 き方向上	県内公立学校における時間外在校等時間が月45時間以下の割合(10月)	在校等時間記録報告(学校人事課調査)	令和7年度 小：77.1%、 中：55.8% 高：76.6%、 特：96.6%
	研修を実施したアンケートにおける「大変有効であった」「有効であった」と回答した割合	総合教育センター研修講座	令和8年3月 99.5%

【2 群馬の教育を推進する基盤となる重点政策】
 ② これからの時代の学びを支える施設・設備整備の推進

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)



(事業ツリーの概要)

重点政策2-②「これからの時代の学びを支える施設・設備整備の推進」の趣旨である「時代に応じて変化していく学びに対応するため、将来を見据えた施設・設備等の整備を推進する」を踏まえ、主なテーマ「県立学校の再編整備及び施設・設備整備の推進」の下、それぞれの施策に取り組みます。

■主なテーマ 県立学校の再編整備及び施設・設備整備の推進

教育の質的水準の維持・向上を図る観点から、県立学校の再編整備を計画的に行います。また、学校施設の長寿命化を計画的に進めるとともに、バリアフリー化やトイレの洋式化、空調設備の更新等、生徒の多様なニーズや新たな学びに適した施設・設備の整備を行い、教育環境の向上と老朽化対策を図ります。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・沼田・利根地区新高校整備
- ・県立高校改革推進
- ・赤城特別支援学校再編整備
- ・伊勢崎特別支援学校整備
- ・県立学校長寿命化工事
- ・県立学校体育館空調設置
- ・県立高等学校特別教室空調設備整備

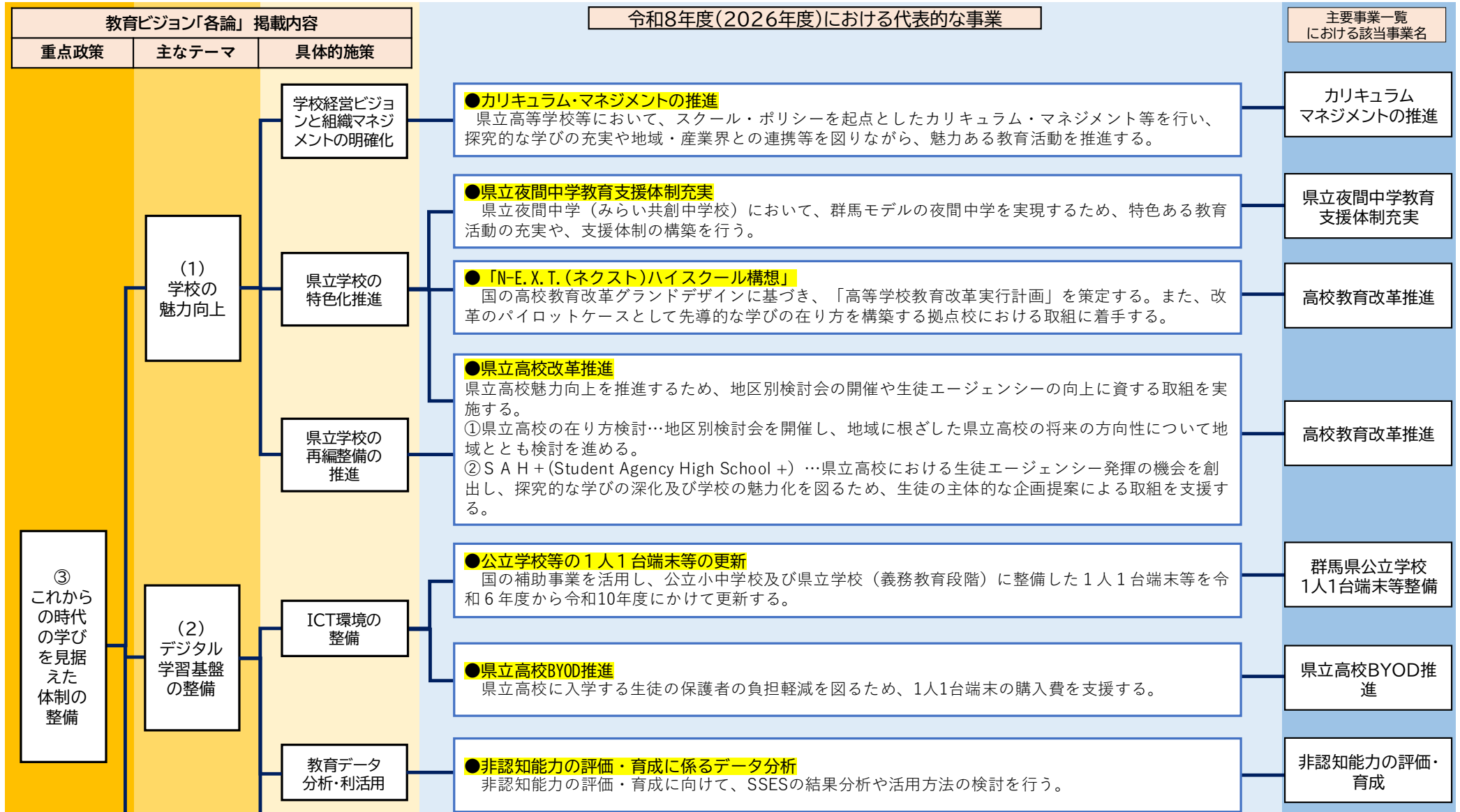
(指標)

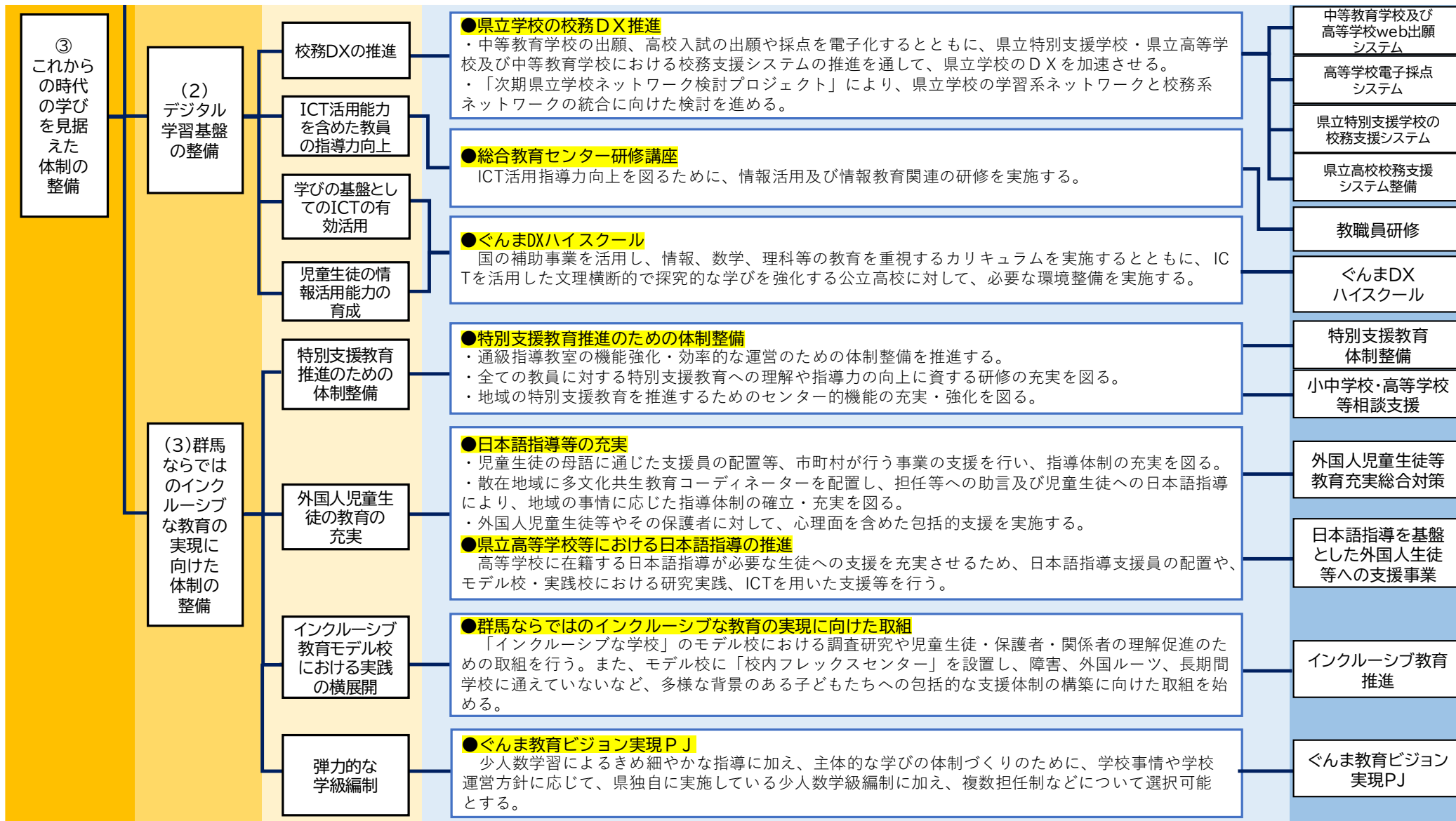
関連する 主なテーマ	指標	出典	最新値
県立学校の 再編整備及 び施設・設備 整備の推進	長寿命化を図るため大規模改修を実施した棟数	管理課事業実績	令和7年度 71棟
	県立高等学校の体育館等へのエアコン設置率	管理課事業実績	令和6年度 高校：7.1% 特支：12.0%
	県立高等学校の特別教室へのエアコン設置率	管理課事業実績	令和6年度 57.4%

【2 群馬の教育を推進する基盤となる重点政策】
③ これからの時代の学びを見据えた体制の整備

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)





（事業ツリーの概要）

重点政策2-③「これからの時代の学びを見据えた体制の整備」の趣旨である「学習者が活躍する将来の社会に必要な資質・能力を育む教育を推進するため、新たな学びの在り方に対応できる教育体制を整える」を踏まえ、3つの主なテーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主なテーマ（1）学校の魅力向上

グラウンドデザインやスクール・ポリシー等に基づくカリキュラム・マネジメントに力を入れることで、特色ある魅力的な学校づくりを推進します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・カリキュラム・マネジメントの推進
- ・県立夜間中学教育支援体制充実
- ・「N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール構想」
- ・県立高校改革推進
- ・沼田・利根地区新高校整備

■主なテーマ（2）デジタル学習基盤の整備

ICT を学習ツールとして効果的に活用できる体制を整備し、個別最適かつ協働的な学びの一体的な充実を図ります。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・公立学校等の1人1台端末等の更新
- ・県立高校BYOD推進
- ・非認知能力の評価・育成に係るデータ分析
- ・県立学校の校務DX推進
- ・総合教育センター研修講座
- ・ぐんまDXハイスクール

■主なテーマ（3）群馬ならではのインクルーシブな教育の実現に向けた体制の整備

学校教育において一人一人に応じた支援を必要とする全ての子どもが共に学び合うことができる教育環境を通じて、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばす教育を実践するための体制整備を進めます。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・特別支援教育推進のための体制整備
- ・日本語指導等の充実
- ・日本語指導を基盤とした外国人生徒等への支援事業
- ・群馬ならではのインクルーシブな教育の実現に向けた取組
- ・ぐんま教育ビジョン実現PJ

（指標）

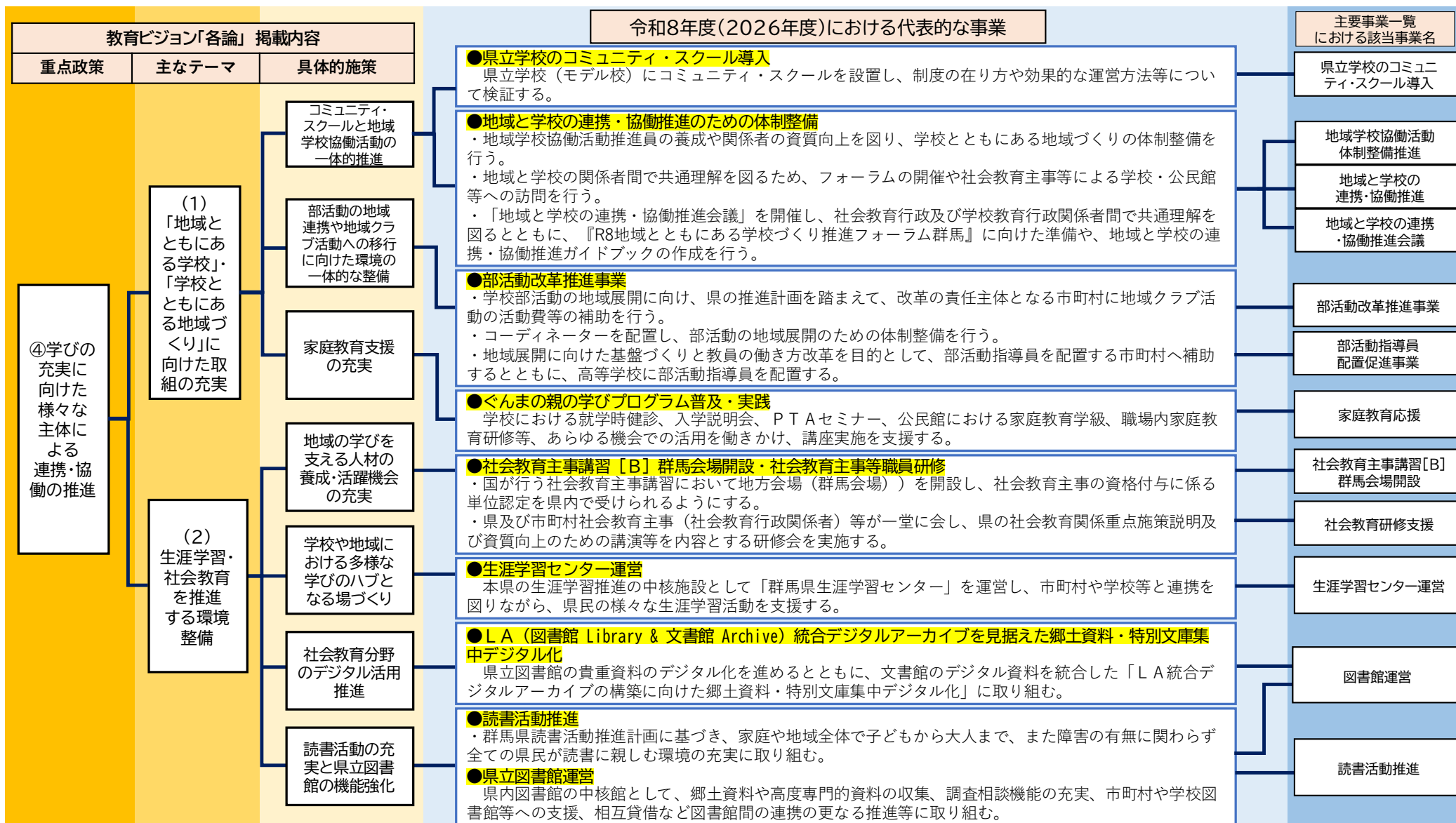
関連する 主なテーマ	指標	出典	最新値
(1)「学校の魅力向上」	「魅力ある教育活動が推進されている」と回答した公立高等学校・中等教育学校後期課程の生徒の割合 （「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した生徒の合計）	・新・群馬県総合計画及び群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）推進に係る高校生アンケート（総務課調査）	令和7年度 82.9%
(2)「デジタル学習基盤の整備」	授業にICTを活用して指導する能力が身に付いていると回答した教員の割合 （B-174において「できる」「ややできる」と回答した教員の平均数/授業担当教員数・全校）	学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省）	令和6年度 77.7%
	児童生徒のICT活用を適切に指導する能力が身に付いていると回答した教員の割合 （B-174において「できる」「ややできる」と回答した教員の平均数/授業担当教員数・全校）	同上	令和6年度 78.6%
(3)「インクルーシブ教育推進に向けた体制整備」	県立特別支援学校の交流及び共同学習の実施率	交流及び共同学習実施状況報告書（特別支援教育課調査）	令和6年度 （小学部） 39.5% （中学部） 16.5%

【2 群馬の教育を推進する基盤となる重点政策】

④ 学びの充実に向けた様々な主体による連携・協働の推進

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)



(事業ツリーの概要)

重点政策2-④「学びの充実に向けた様々な主体による連携・協働の推進」の趣旨である「学びを学校だけで完結させず、『家庭』・『学校』・『地域』・『行政機関』・『民間団体・企業』等の連携・協働により、学校教育・社会教育が相互に関わりを持ちながら、自己実現や持続可能な地域コミュニティの基盤となる生涯にわたる学びを広げていく」を踏まえ、2つの主要テーマの下、それぞれの施策に取り組みます。

■主要テーマ(1)「地域とともにある学校」・「学校とともにある地域づくり」に向けた取組の充実

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識のもと、住民・企業等を含めた地域全体で教育活動を行い、学びの広がりを目指すとともに、社会教育の間口を広げ、地域コミュニティの活性化につなげます。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・県立学校のコミュニティ・スクール導入
- ・地域と学校の連携・協働推進のための体制整備
- ・部活動改革推進事業
- ・ぐんまの親の学びプログラム普及・実践

■主要テーマ(2)生涯学習・社会教育を推進する環境整備

自己実現や持続可能な地域コミュニティの基盤の強化に向けた生涯学習・社会教育を担う人の育成や社会教育施設の有効活用等を通じて、地域における社会教育活動と人生100年時代の学びを支えます。

【令和8年度(2026年度)における代表的な事業】

- ・社会教育主事講習[B]群馬会場開設・社会教育主事等職員研修
- ・生涯学習センター運営
- ・LA(図書館 Library & 文書館 Archive)統合デジタルアーカイブを見据えた郷土資料・特別文庫集中デジタル化

- ・読書活動推進
- ・県立図書館運営

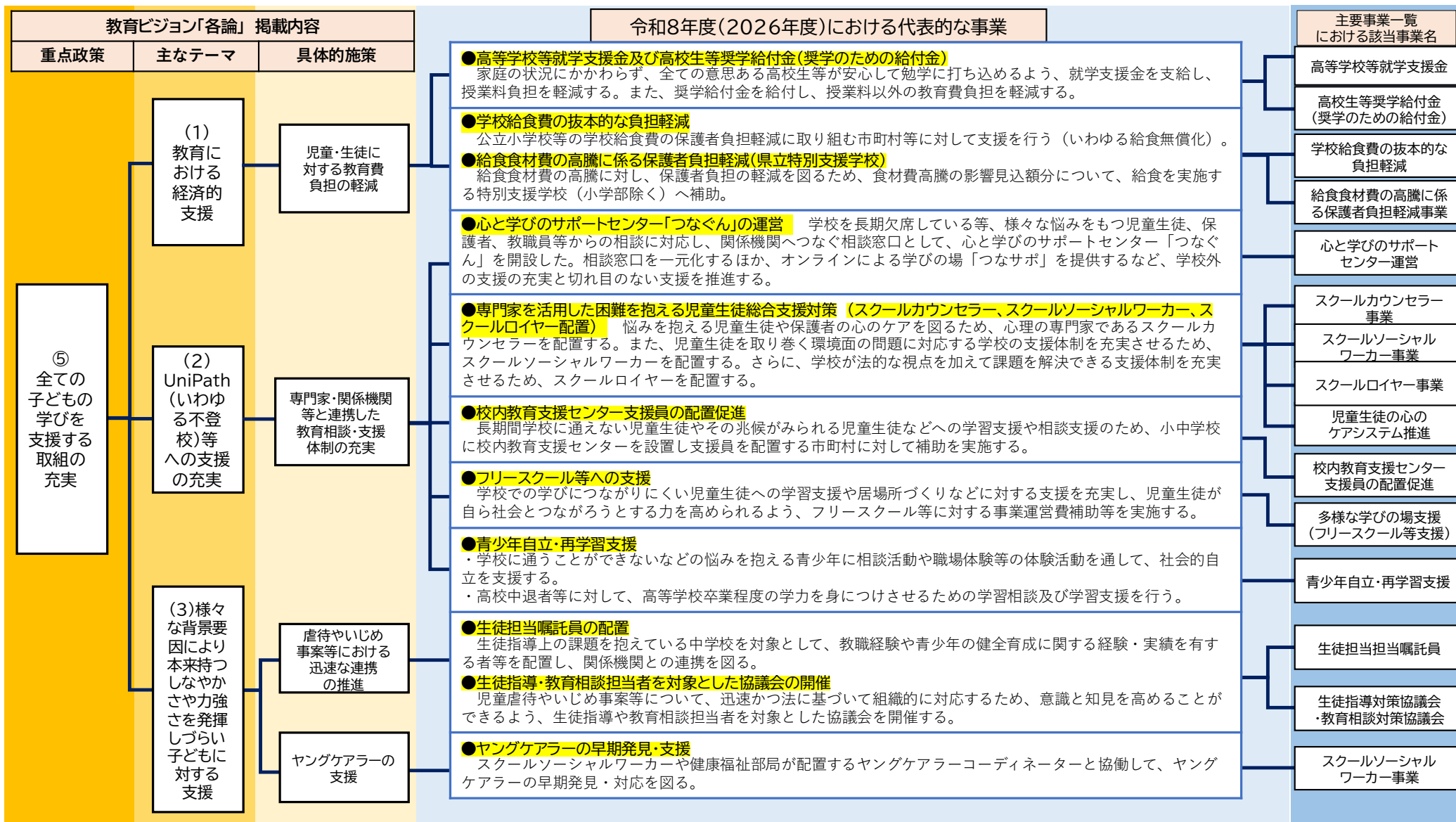
(指標)

関連する 主要テーマ	指標	出典	最新値
(1)「地域とともにある学校」・「学校とともにある地域づくり」に向けた取組の充実	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった」と回答した学校の割合	全国学力・学習状況調査	令和6年度 小：％ 中：％
	学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に取り組む市町村の割合 又は学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に取り組む学校数及び部活動数	健康体育課事業実績	令和7年度 地域連携 80.0％ 地域移行 68.6％
(2)生涯学習・社会教育を推進する環境整備	県立図書館の総合窓口として各種サービスを提供しているホームページのアクセス件数	県立図書館ホームページアクセス件数実績	令和6年度 885,100件
	生涯学習センターの入館者数	生涯学習センターの入館者数実績	令和6年度 209,424人

【2 群馬の教育を推進する基盤となる重点政策】
⑤ 全ての子どもの学びを支援する取組の充実

※この他の事業も含め、本重点政策に関連する事業を「(別表) 主要事業一覧」に掲載しています

(事業ツリー)



（事業ツリーの概要）

重点政策2-⑤「全ての子どもの学びを支援する取組の充実」の趣旨である「全ての子どもの可能性を最大限に伸ばす教育を目指し、教育費負担の軽減を図りつつ、個別の課題を抱える子どもに対して、『教育』と『福祉』・『保健』・『医療』・『司法』・『地域』・『民間団体・企業』等の連携により、年齢や背景の多様性等に応じた支援を行う」を踏まえ、3つの主要テーマの下、それぞれの施策に取り組めます。

■主要テーマ（1）教育における経済的支援

授業料やその他の教育に係る経費の負担を軽減し、経済的理由により就学の機会が失われないよう、児童・生徒が安心して教育を受けられる環境を整備します。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・高等学校等就学支援金及び高校生等奨学給付金（奨学のための給付金）
- ・学校給食費の抜本的な負担軽減
- ・給食食材費の高騰に係る保護者負担軽減（県立特別支援学校）

■主要テーマ（2）UniPath（いわゆる不登校）等への支援の充実

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門家や、状況に応じてフリースクール等の民間団体等と連携を図り、子どもたちが「社会とのつながり」を持つことができるよう、一人一人に寄り添った支援を行います。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・心と学びのサポートセンター「つなぐん」の運営
- ・専門家を活用した困難を抱える児童生徒総合支援対策（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー配置）
- ・校内教育支援センター支援員の配置促進
- ・フリースクール等への支援
- ・青少年自立・再学習支援

■主要テーマ（3）様々な背景要因により本来持つしなやかさや力強さを発揮しづらい子どもに対する支援

様々な背景要因により、社会生活を円滑に営むうえで困難さを有する児童生徒について、専門機関等と連携を図りながら、状況に応じた適切な支援を行います。

【令和8年度（2026年度）における代表的な事業】

- ・生徒担当嘱託員の配置
- ・生徒指導・教育相談担当者を対象とした協議会の開催
- ・ヤングケアラーの早期発見・支援

（指標）

関連する 主要テーマ	指標	出典	最新値
(1)教育における経済的支援	「経済的理由」による中途退学者の割合	児童生徒の問題行動・不登校児童生徒指導上の諸課題に関する調査結果（文科省調査）	令和6年度 0.2%
(2)不登校児童生徒等への支援の推進	不登校児童生徒等を教育支援センター・フリースクール等の民間団体・医療・福祉等の関係機関や専門機関と連携して支援した実人数	義務教育課事業実績（各教育事務所実績報告）	令和6年度 1,080人
(3)様々な背景要因により本来持つしなやかさや力強さを発揮しづらい子どもに対する支援	スクールソーシャルワーカー(SSW)が支援を行った学校数	SSW活用事業における活動記録（文部科学省調査）	令和6年度 小中学校等 223校 高等学校等 13校

